

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年1月16日）

1 主な報告等

(1) 令和7年沖縄県警察年頭視閲式の開催結果について

委員から、沖縄県警察年頭視閲式は、部隊統制のとれた分列行進、音楽隊のドリル演奏、白バイ隊の走行訓練など、凜とした空気感と臨場感が感じられる大変素晴らしい式典であった。また、式典と併せて県警察及び九州管区警察局情報通信部合同による職員採用の説明ブースを設置するなど、効率的・効果的な活動が行われたことを評価する。子どもたちを始め、多くの県民に勇壮で統制のとれた警察官の姿を見ていただき、警察活動への理解と協力を得る大変良い機会であった。今後も式典を継続していただきたい旨の発言があった。

(2) 令和7年「成人の日」関連式典への対応について

委員から、「成人の日」関連式典の事前の情報収集や主催者との連絡調整、県警察部内の対策会議など、式典参加者等による不法行為等の防止のため、きめ細やかな対策がなされていることが説明を受けよく分かった。街頭における警戒活動に従事する制服警察官による式典参加者等へのソフトで優しい声かけなど、見せる警戒活動も功を奏していたと感じた。各種対策により大きなトラブルもなく「成人の日」関連式典を終えたことを評価する旨の発言があった。

(3) 宮古島市平良字下里における殺人事件被疑者の検挙について

委員から、DVを始めとする男女間トラブルに関連する事案対応の難しさを感じた。家族間や男女間トラブルに関連する事案については、覚知した段階における危険性・切迫性の判断が難しいことから、関係機関とも連携した継続的な対応を検討していただきたい旨の発言があった。

(4) その他

警察本部から、1月15日付けで、令和6年中の刑法犯発生件数等の暫定値を県警察のホームページに掲載した。その数値は、精査が必要であるが、令和6年は、令和5年と比較して特殊詐欺や凶悪犯罪が増加するなどしている。犯罪の変化に的確に対応して、県民の安全・安心を確保するためには、県警察の各幹部が同じ認識をもって業務に取り組んでいくことが重要である。明日、1月17日に開催する令和7年第1回警察署長会議は、各部門の課題等について、県警察全体で認識を共有し、相互理解を深める場となることから、公安委員会の御助言もいただきながら、実りのある会議にしてまいりたい旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 始業時間変更の本格運用について
- ・ 裁決書の事前説明について

- ・ 令和6年度第34回県民の警察官の表彰について
- (2) 刑事部
- ・ 旭琉會の第12回指定スケジュールについて
- (3) 交通部
- ・ 自動車運転免許の行政処分について
 - ・ 弁明書の作成について